

## 『第2回学校運営協議会』にて

10月24日（木）開催の協議会では、各学校ごとに分かれ、学校側から学校運営等の中間説明があった後に意見交換を行いました。報告の一部を紹介します。



### ○八森小学校グループ

- ・「元気みこし」に取り組み、学校と児童と地域とのつながりを強くすることができた。その分他の事業が手薄になってしまい、組み直しが必要になっている。
- ・運動会を半日とした。7月のアンケート結果では賛成が75%だったが、「賛成だけでも寂しい」という声もあった。運動会の半日化は全国的な流れであり、来年さらに外国語教育やプログラミング教育等の導入もあって行事に時間を割けないことも理由だが、各方面の声を聞いて対応していきたい。



### ○峰浜小学校

- ・全国学力調査時のデータで見ると、3つの重点目標についてそれぞれ成果が出ているので、峰浜小学校スタイルが確立しつつある。
- ・ICT授業は対応する先生方が大変だが、全国的に誇れるものであることを認識した。
- ・6年生の修学旅行先で自作チラシを配って町をPRしたことは、多くの人とふれあう機会があって、子どもたちにとっては貴重な体験となった



### ○八峰中学校

- ・生徒と生徒、生徒と先生の距離を縮め、信頼関係を築くために、教職員は「チーム八峰」を組んで対応にあたっている。
- ・「思春期ということもあるが、生徒がおとなしい」との声もあり、自分の考えを堂々と人前で話せる中学生像を目指し、コミュニケーションを高められる授業にしていきたい。
- ・キャリア教育では、1年生は「町内探索と職場体験」、2年生は「秋田市での町内特産品販売」、3年生は「商品開発とんめものまつりでの販売」を各方面での協力を得て実践することができた。今後も意見を聞きながら、より良い形のものがあれば改善していきたい。
- ・全校生徒を対象にジオパーク学習会を実施することができた。
- ・北方領土青少年等現地視察事業に生徒14名を参加させることができた。



## Dのあつちこつち見聞録

※11月3日（日）町民文化祭にて

芸術発表会の前に「**6回あきた白神子どもの俳画大会表彰式**」が行われていました。今年も町内の2小学校と、町外の2小学校から230名の応募があり、入賞した14名が表彰されました。うち8名が峰浜小学校児童で、さすが「俳句の学校」と感心しました。



俳画の良いところは、俳句だけでなく、句を連想させる絵もあるので、観る方としてはとても楽しいですね。作る方は大変かもしれませんが、感性豊かな子どもたちを育てるために、この俳画大会は役立っていると思います。

芸術発表会では、久々に**八峰中代表として2年生がダンスパフォーマンスと合唱とを披露**してくれました。思春期にあつてか、少しぎこちない動きの生徒や、堅い表情をした生徒もいましたが、それはそれ。若さ溢れるパフォーマンス集団に、観客は大喜びで大きな拍手を送っていました。やはり子どもたちは地域の元気の源です。

